

第 6 章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

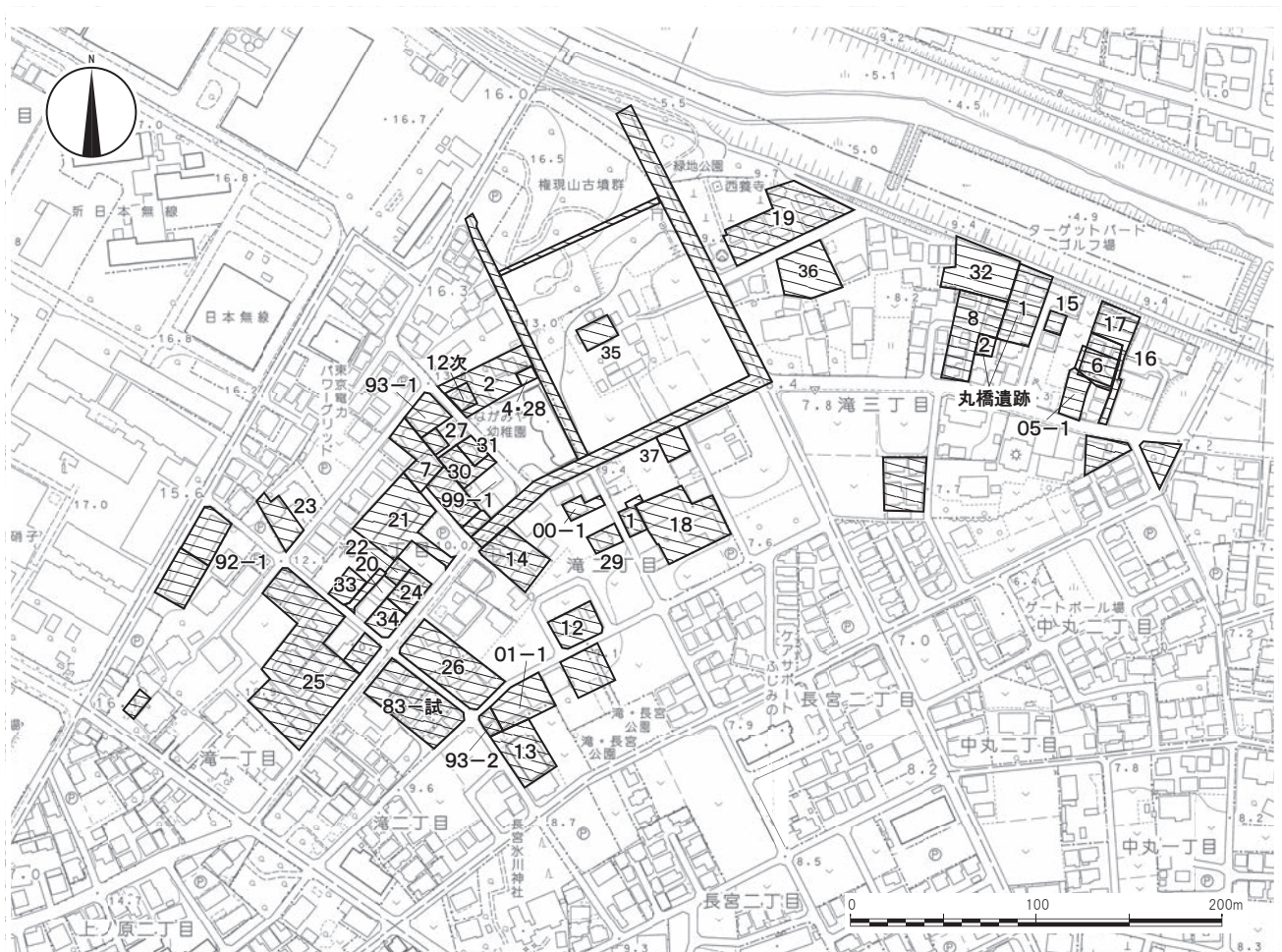
滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高 9 ～ 12 m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 250 m、東西 500 m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976 年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981 年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来 2021 年 4 月現在 43 ケ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第 3・5・9 ～ 11 次調査、1995 年度試掘調査・2002 年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡 1・2・5 ～ 7・14・17 地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。



第 21 図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第20表 滝遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
丸橋1次	滝3-3-77～81	(1976.6.26・27) 1976.7.24～8.12	533.73		分譲住宅	古墳時代住居跡2、土師器	丸橋遺跡は滝遺跡へ 統合	上調、上埋Ⅵ
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26～8.6	210		住宅建設	土坑、縄文土器		上埋Ⅰ
1次	滝2-6-11	1978.10.2～13	129		住宅建設	古墳時代住居跡1、土師器		上埋Ⅰ
2次	滝1-4-2	1979.4.15～5.7	278		幼稚園プール	古墳時代住居跡1、古代住居跡3、 土坑、墨書土器等		上埋Ⅱ
3次	滝1-4-15	1980.6.27～7.3	76		個人住宅	古墳時代住居跡1、甕	権現山1地点へ変更	上埋Ⅲ
4次	滝1-4-1	1980.7.7～10	105		住宅建設	遺構なし、土師器		上埋Ⅲ
5次	滝1-3-21	1980.7.25～29	330		住宅建設	遺構遺物なし	権現山2地点へ変更	上埋Ⅲ
6次	滝3-3-6	1980.11.19～11.30	166		住宅建設	古代住居跡1、ビット、縄文土器 等		上埋Ⅲ
7次	滝1-1-19	1981.7.30・31	400		個人住宅	遺構なし、土師器等		上埋Ⅳ
8次	滝3-3-15他	1983.11.14～26	990		住宅建設	古墳時代住居跡2、土坑、溝、土師 器等		上埋Ⅵ
83-試							詳細不明	上埋Ⅵ
9次	滝1-4-4	1984.5.11～22	466		住宅建設	溝、土師器等	権現山5地点へ変更	上埋Ⅶ
10次	滝1-3-17	1984.6.1～12	363		住宅建設	古墳時代住居跡1、土坑、ビット、溝、 土師器等	権現山6地点へ変更	上埋Ⅶ
11次	滝1-4-2	1984.6.28～30	33.12		物置	集石、土坑、ビット、陶磁器等	権現山7地点へ変更	上埋Ⅶ
12次	滝1-4-2	1984.12.22～24	94		住宅建設	遺構なし、土師器等		上埋Ⅶ
92-1	滝1-2-14の一部	(1992.7.6～8)	400		倉庫	遺構遺物なし		上埋15
93-1	滝1-1-4	(1993.4.23～28)	313.08		共同住宅	遺構遺物なし		上埋16
93-2	滝2-2-7	(1993.8.25)	99		個人住宅	遺構遺物なし		上埋16
95-1	滝1-3-13	(1995.11.27～30)	462		共同住宅	遺構遺物なし	権現山14地点へ変更	上埋18
99-1	滝1-1-6	(1999.10.21～26)	511.09		宅地造成	遺構なし、土師器片等		上埋22
00-1	滝2-5-20	(2001.1.23・24)	154.7		個人住宅	遺構なし、土師器片		上埋23
01-1	滝2-2-8	(2001.4.17～20)	519.64		共同住宅	古代住居跡1、土師器		上埋24
02-1	滝1-3-49	(2002.5.29・30)	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器片	権現山16地点へ変更	上埋25
05-1	滝3-3-5・143	(2005.6.24～27)	350		個人住宅	遺構遺物なし		市内1
12	滝2-5-3・4の一部	(2007.2.6)	472	(80)	個人住宅	遺構遺物なし		市内3
13	滝2-2-6	(2007.10.24～11.1)	737.7	(113)	共同住宅	焼土、土坑、ビット、溝		市内4
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8～19) 2007.11.20～12.6	692	(254) 92	分譲住宅	古代住居跡7、焼土、土坑、溝、井戸、 土師器等		市内4
15	滝3-3-84	(2009.9.2～14) 2009.10.23～11.6	100	(50) 52.5	分譲住宅	古代住居跡1、土坑、ビット、井戸、 土師器等		市内7
16	滝3-3-145	(2009.12.2～14)	434	(129)	宅地造成	古代住居跡2、土坑、ビット、溝、 井戸、土師器等		市内8
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6～6.18)	331	(197)	分譲住宅	古代住居跡5、掘立柱建物跡1、集 石、土坑、ビット、溝、井戸、土 師器等		市内10
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6～13) 2011.6.14～7.14	1,164	(124.3) 195.2	個人住宅	古墳時代住居跡2、掘立柱建物跡3、 土坑、ビット、溝、井戸、土師器等		市内14
19	滝3-4-2	(2011.10.17～24)	1,277.16	(369)	分譲住宅	溝、陶磁器等		市内14
20	滝1-8・9	(2012.5.9～11) 2012.5.14～25	124.45	(65) 20	道路築造	古代住居跡1、土坑、ビット、井戸、 須恵器等		市内12
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11～21) 2012.7.17～8.25	1,176.25	(226) 340	共同住宅	古代住居跡3、掘立柱建物跡1、土 坑、ビット、溝、井戸、土師器等		市内12
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	(19)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	(38)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16～18)	222.8	(85)	分譲住宅	土坑、ビット、土師器等		市内20
25	滝1-2-4・32	(2014.7.17～8.26) 2014.9.8～10.31	2,804	(1115.8) 362	宅地造成	古代住居跡8、古代掘立柱建物跡1、 土坑、ビット、溝、井戸、須恵器等		市内16
26	滝2-5-6・8 滝2-5-39・40・41・ 42	(2015.10.19～27) 2015.11.9・10 (2016.8.24～9.9)	368.92 862.92	(242) 19.2 (131.87)	個人住宅 分譲住宅	古代住居跡2、落とし穴、土坑、ビッ ト、溝、井戸、縄文土器等		市内22
27	滝1-1-25	(2015.11.27～12.1)	155	(29)	個人住宅	古代住居跡1、ビット、土師器等		市内22
28	滝1-4-1・26・27	(2016.9.3～6)	2,492.15	(25)	幼稚園	古代住居跡1、ビット、土師器等		市内24
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150.41	(34.95)	個人住宅	溝、縄文土器等		市内24
30	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	303	(104.5)	分譲住宅	遺構なし、縄文土器		市内24
31	滝1-1-3の一部	(2017.2.13～15)	109	(26.1)	個人住宅	遺構遺物なし		市内24
32	滝3-3-14	(2017.6.26～29)	784.54	(176.1)	分譲住宅	ビット、溝、井戸、陶磁器等		市内24
33	滝1-1-9の一部	(2018.12.14)	187	(38.15)	個人住宅	ビット群、須恵器等		市内25
34	滝1-1-8	(2019.2.20・21、4.12)	333	(52.54)	個人住宅 兼診療所	遺構なし、須恵器等		市内25
35	滝1-6-3	(2020.2.17) 2020.2.18～21	171.83	(85.5) 35	個人住宅	土坑、井戸、地下式坑、板碑、カ ワラケ等		市内25
36	滝3-3-28	(2020.4.6・7)	668.54	(67)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内26
37	滝2-6-7	(2020.4.15・16)	181	(36.6)	分譲住宅	土坑、ビット、溝、土師器		市内26



第22図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

III 滝遺跡第 37 地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2020 年 3 月 30 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2020 年 4 月 15・16 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ～ 70 cm である。調査の結果、時期不明の溝跡、土坑、ピットを検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①土坑

調査区北東部のトレンチ 3 で確認した。平面形態は楕円形を呈し、確認面径は 100 × (52) cm を測る。保護層の確保が可能であったため完掘はしていない。出土遺物はない。土層の観察から縄文時代に帰属する可能性が高い。

②ピット

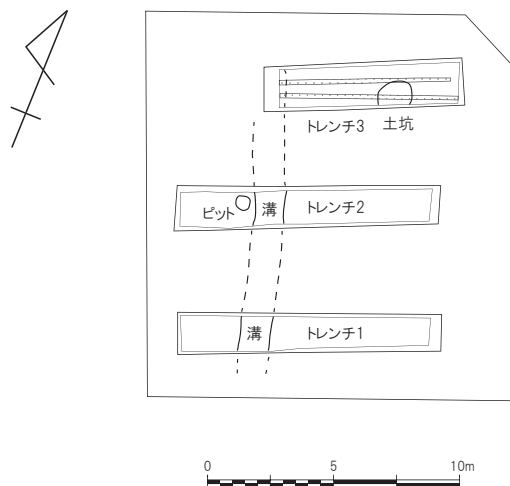
調査区西側、トレンチ 2 の溝の西側に接するように位置する。平面形態はほぼ円形を呈し、確認面径 55 × 50 cm、底径 21 × 19 cm、深さ 50 cm を測る。土層中位より S 字口縁甕の破片が出土しているが、ピットの時期を決定するものではない。

③溝

調査区中央部やや西寄りに位置し、N-13°-W とほぼ南北に走行する。断面形態は台形を呈し、上幅 100 ～ 110 cm、下幅 85 ～ 90 cm、深さ 30 ～ 40 cm を測る。底面は平坦で、南北で大きな高低差は見られない。覆土中より土師器片が出土したが、溝の時期を決定するものかは不明である。

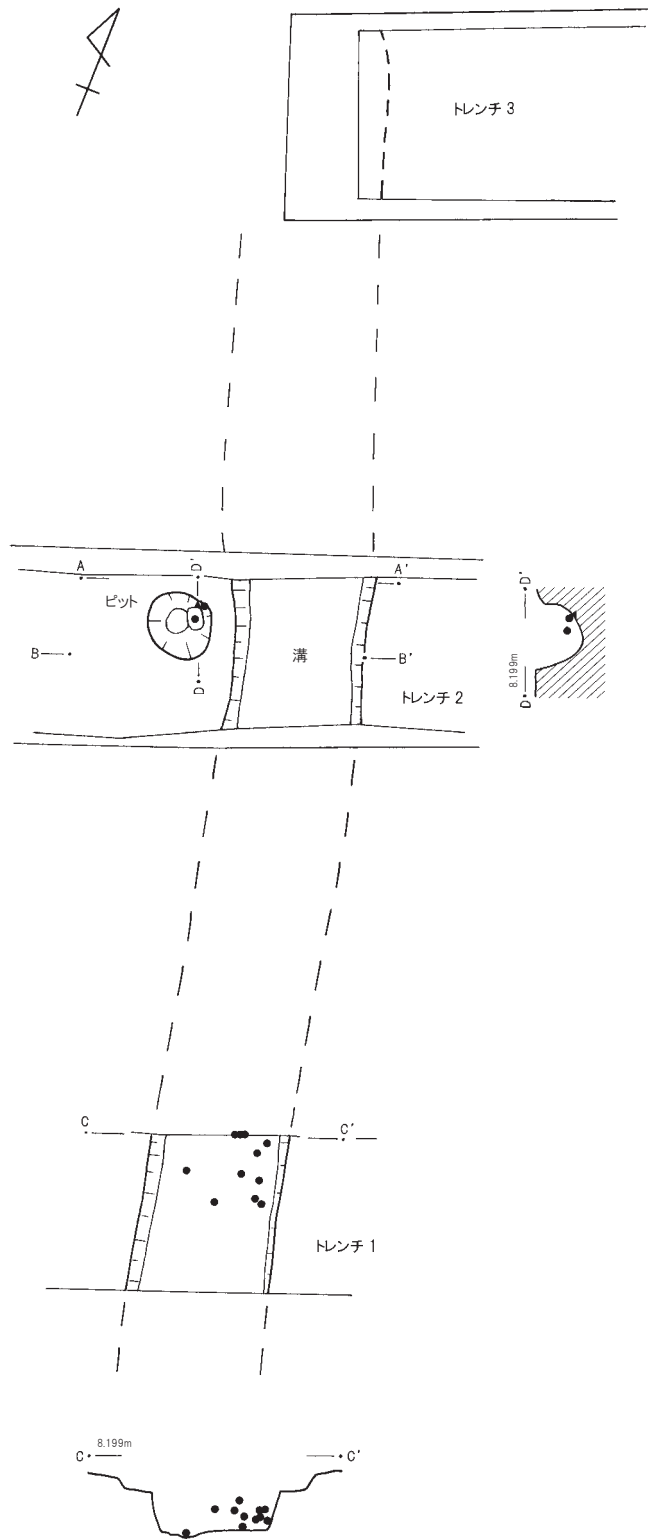
④出土遺物

遺物の大半は溝の覆土中より出土したものである。詳細については第 26 図及び第 21 表に掲載した。土師器片については溝の南側に比較的集中して出土している。内容としては、4 世紀代に位置付けられるものが多く、本地点より約 25m 南西に位置する第 18 地点の 4 世紀後半の住居跡との関連が考えられる。

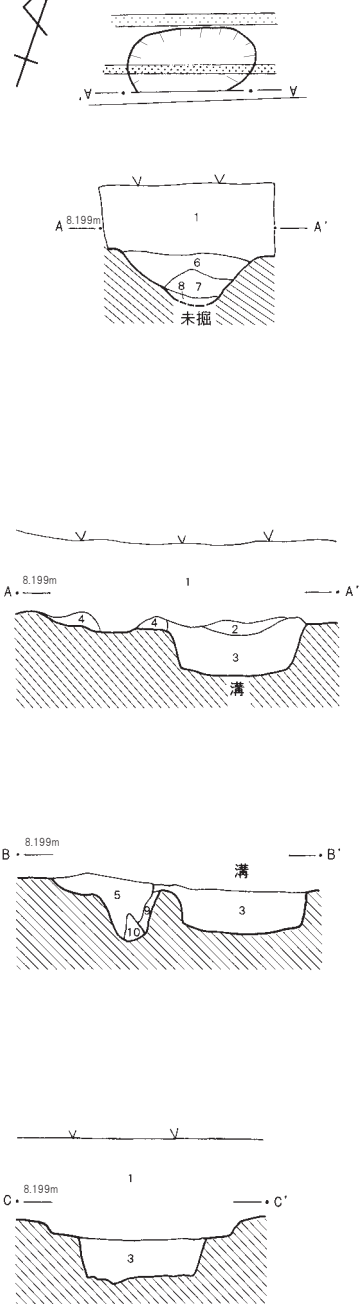


第 24 図 滝遺跡第 37 地点遺構配置図 (1/300)

ピット・溝



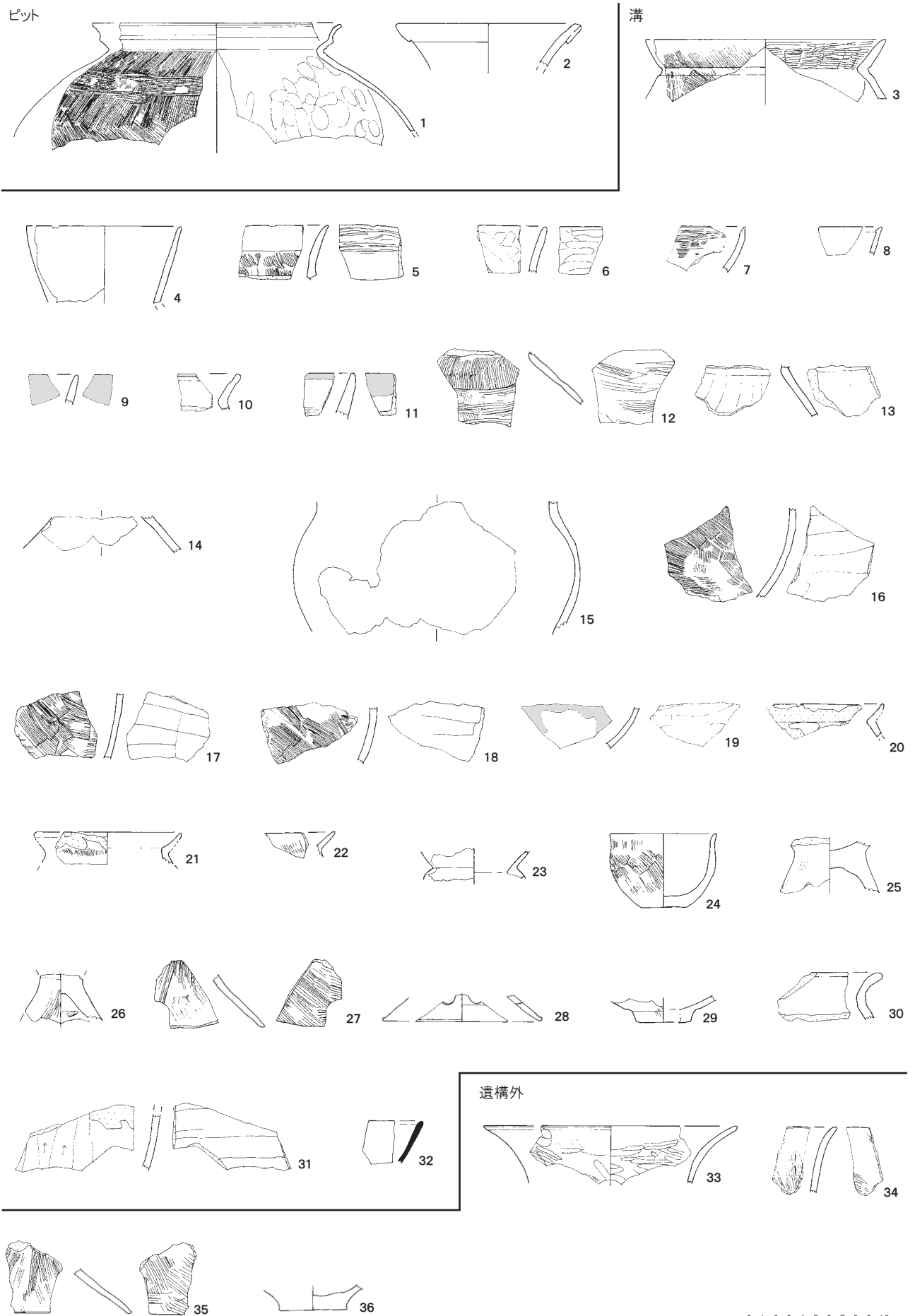
土坑



1. 黒褐色土 軟質、締り弱
2. 黒褐色土 赤色（サビ状）粒子を含む
3. 黒褐色土 締り弱い、ローム小ブロック含む
4. 茶褐色土
5. 締り無い軟質な暗褐色土
6. 褐色土 締り強
7. ロームブロック含む 6 層
8. 暗褐色土 締り強
9. 側壁からの流れ込み
10. ロームブロックと黒褐色土の混土层

0 1 2m

第 25 図 滝遺跡第 37 地点土坑・ピット・溝 (1/60)



第 26 図 滝遺跡第 37 地点出土遺物 (1/4)

第21表 淹遺跡第37地点出土遺物観察表(単位 cm・g)

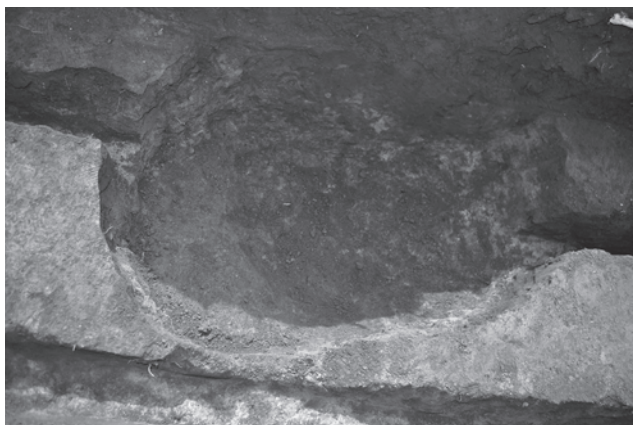
図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期
1	ピット	土師器・台付甕	S字状口縁、口径(18.6)cm、口縁部ナデ、胴部羽状ハケ目、肩部横位ハケ目内面ナデ	4世紀前半
2		土師器・壺	複合口縁、口径(13.8)cm、口縁部粘土貼付、胎土に白色粒子を含む、2.5YR 5/6 明赤褐色	4世紀前半～ 中葉
3	溝	土師器・甕	甕または台付甕、口径(17.9)cm、外面ハケ、内面ナデ	4世紀前半～ 中葉
4		土師器・小型壺	口縁部、口径(11.4)cm、内外面ミガキ、赤彩、所謂瓢壺、内面に僅かに煤付着	4世紀中～後半
5		土師器・甕	口縁部、外面ハケ目後ナデ、外面ハケ目、胎土に赤色粒子を多く含む	4世紀中～後半
6		土師器・甕	口縁部、内外面ミガキ、胎土に赤色粒子を含む	4世紀
7		土師器・高坏	高坏または埴口縁部、外面ハケ目、内面ミガキ	4世紀中～後半
8		土師器・甕	口縁部、全体的に摩耗、口縁部が僅かに内面に突出する	-
9		土師器・甕	口縁部、内外面ミガキ、赤彩	-
10		土師器・甕	口縁部、内外面ナデ、外面に僅かに赤彩が残る	-
11		土師器・甕	口縁部、内外面ミガキ、赤彩、内面に煤付着	-
12		土師器・甕	甕または壺肩部、外面縦位ハケ目後肩部に横位ハケ目、内面ナデ	4世紀前半
13		土師器・甕	甕または壺肩部、内外面ミガキ、胎土に砂粒を多く含む	4世紀代
14		土師器・甕	肩部、頸部径(7.5)cm、内外面共に摩滅	4世紀代
15		土師器・壺	胴部、最大復元径(21.4)cm、内外面共に摩滅	4世紀代
16		土師器・甕	胴部、外面ハケ目、内面ナデ	4世紀前半
17		土師器・甕	胴部、外面ハケ目、内面ナデ、内面に黒斑	4世紀前半
18		土師器・甕	胴部、外面ハケ目、内面ナデ、胎土に径5mm程度の礫を含む	4世紀前半
19		土師器・甕	胴部、内外面ミガキ、外面に赤彩	古墳時代前半
20		土師器・鉢	口縁部、長さ約1.5cmの短い口縁部が付く小型の鉢、外面ハガレ、内面ミガキ	4世紀前半～ 中葉
21		土師器・鉢	口縁部、口径(11.0)cm、長さ約1.4cmの短い口縁部が付く小型の鉢、外面ハケ目、内面ミガキ	4世紀前半～ 中葉
22		土師器・鉢	口縁部、長さ約1.4cmの短い口縁部が付く小型鉢、外面赤彩	4世紀前半～ 中葉
23		土師器・埴	頸部、復元径(6.3)cm、全体的に摩滅が激しい、内外面に僅かに赤彩の痕跡有	-
24		土師器・鉢	1/2 残存、口径(8.0)cm、底径3.3cm、高さ5.5cm、長さ5mmの短い口縁部が付く小型鉢、外面ハケ目、内面ナデ	4世紀前半～ 中葉
25		土師器・高坏	脚部、全体的に摩耗が激しい、胎土に白色粒子を多量に含む	5世紀
26		土師器・高坏	脚部、外面ミガキ、内面ナデ	4世紀
27		土師器・台付甕	脚部、内外面ハケ目、胎土に白色粒子を含む	4世紀
28		土師器・高坏	高坏または器台脚部、底径(12.0)cm、径1cmの透かし孔、内外面ミガキ	4世紀
29		土師器・壺	底部、底径(4.2)cm、外面ヘラナデ、内面ナデ	4世紀代
30		土師器・甕	口縁部、内外面ナデ、外面に僅かにヘラケズリ	8世紀
31		土師器・甕	胴部、外面縦位ヘラケズリ、内面横位ヘラナデ	8世紀代
32		須恵器・坏	口縁部、胎土に白色針状物質を含む、内面に僅かに煤付着、南比企産	古代
33	遺構外	土師器・甕または鉢	口縁部、口径(18.9)cm、内外面ナデ、胎土に赤色粒子を含む	4世紀
34		土師器・壺	口縁部、内外面にハケ目が見られる	4世紀
35		土師器・台付甕	脚部、内外面ハケ目、胎土に白色粒子を含む	4世紀
36		土師器・甕	底部、底径(5.0)cm、内外面ナデ	4世紀後半以降



滝遺跡第 36 地点トレンチ 3



滝遺跡第 36 地点トレンチ 7



滝遺跡第 37 地点土坑



滝遺跡第 37 地点トレンチ 2 ピット・溝

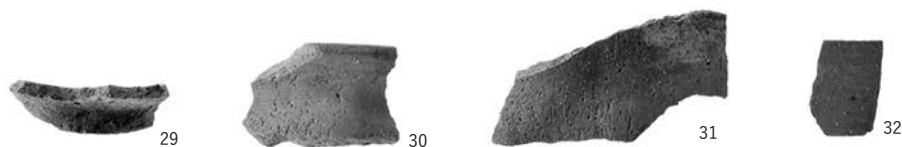
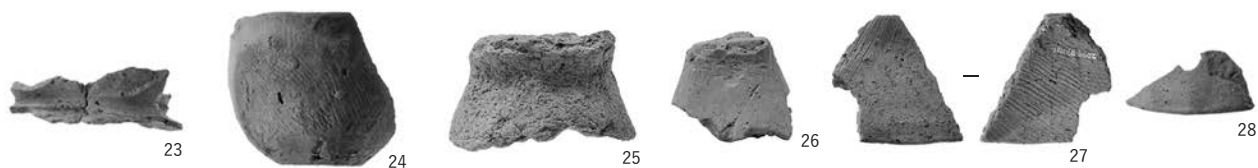
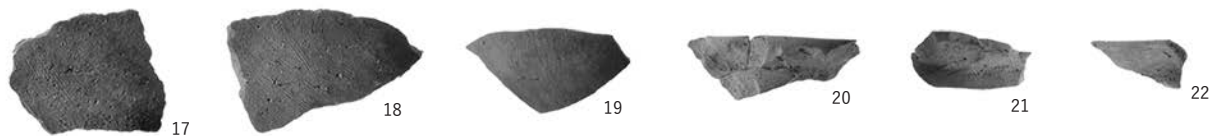
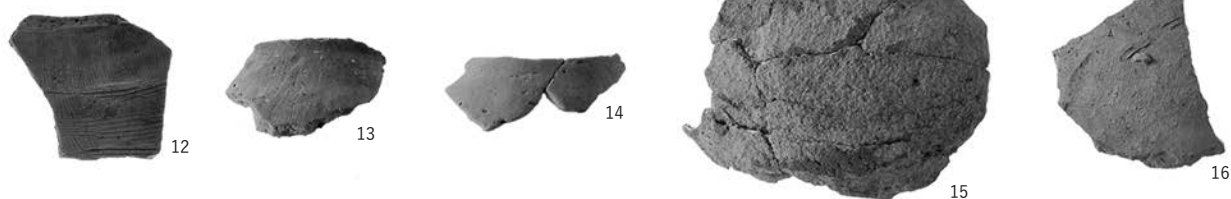
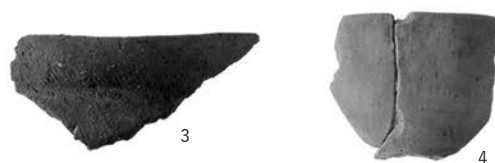


滝遺跡第 37 地点遺物出土状況

ビット



溝



遺構外



滝遺跡第 37 地点出土遺物